

施策番号	0203		
施策名	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進		
概要	すべての市民が，いきいきと活動できる場所と機会を提供するとともに，自分にあった働き方を見つけられ，安心した生活ができるよう，能力向上のための支援や経済的支援などの施策展開を図る。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		25年度	26年度	27年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	京都労働学校受講生の満足度(点)	b	b	4.2	4.1	5.0	82.0%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	24 4.7%	94 18.3%	212 41.2%	110 21.4%	74 14.4%	514	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の実感は、国や府の施策を含めた雇用労働関係行政全般の影響を受けるものであるが、本施策はその一部である勤労者福祉施策であることから、客観指標総合評価を重視することとする。						26年度	C
(原因分析) 【客観指標】アンケート結果によると受講生の講座に対する満足度は前年度から微減したものの、3年連続でb評価と安定した評価を得ている。 【市民の実感】前年度に比べ、否定的な回答が若干減少し、肯定的な回答が微増したことからd→c評価と改善しているが、「どちらとも言えない」と回答された方が4割以上を占めている。						25年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	労働学校運営	29,103	29,177	普通	文化市民局
2	勤労者情報ホームページ運営	3,409	3,427	良い	文化市民局
3	労働者金融対策（融資制度）	2,625	95,625	かなり悪い	文化市民局
4	労働団体助成	2,645	2,645	良い	文化市民局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●いきいきと活動できる場所や働き方を見つける機会の増加に向け、京都労働学校において、アンケート結果等を踏まえながら勤労者のニーズに合った講座の実施に努めて行くとともに、京都市・働く人の情報サイト「さわやかわーく」において、勤労者や働く意欲を持つ方に役立つ情報を発信して行く。

施策名	0203	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進				
指標名	京都労働学校受講生の満足度(点)					
担当課	勤労福祉青少年課		連絡先	2 2 2 - 3 0 8 9		
1 指標の説明						
京都労働学校受講生へのアンケート調査の結果						
2 指標の意味						
勤労者の教養と自覚を高めるための京都労働学校の講座等に関する満足度を示す指標			3 算出方法・出典等			
			算出方法：京都労働学校受講生へのアンケート調査結果(5段階評価) 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	4.2	4.1	0.1ポイント減	5.0	最高満足度	82.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：80%以上90%未満 c：70%以上80%未満 d：60%以上70%未満 e：60%未満			6 基準説明		7 評価結果	
			最高満足度を目標とするため、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		25	26
					b	b
						27
						b